



6月中旬に  
センター職員で  
植えました！

### 色とりどりの 花いっぱいニコニコ

どうですか？  
キレイでしょ！

新村地区福祉ひろばでも1月からガーゼを使ったマスク作りを始めました。その時は防寒用でしたが、今年に限っては飛沫防止のマスクです。ひろばではマスクの型紙を提供し、希望者に作り方を伝授してきました。サラシ、手ぬぐい、ガーゼハンカチ、パントのゴム、ストッキングなど使えるような材料が次々持ちこまれ、職員もミシンを用意、

## コロナ禍のマスク



新村の人口・世帯数	令和2年7月1日現在
世帯数	1,308 戸
男女	1,529 人
合計	1,654 人
	3,183 人



手作りマスク

一時マスクにかなりつきりになりました。テレビに映る知事や国会議員のマスクにも関心がいきます。参加された方からもアイディアをいただきました。都会に住む子供に送りたいと相談にみえる方、「孫の分まで作ったよ」と見せてくださる方も、すべて手縫いで家族分70枚作ったという強者もいて、励みになりました。夏を迎えマスクによる熱中症も心配されています。手作りマスクは熱中症を克服できるのでしょうか。挑戦は続きます。

## 新村堰分水工に標柱設置

新村公民館と新村地区文化財保存会は、この程上新西にある新村堰の分水工の傍らに標柱を設置しました。

現在の分水工は昭和62年に改修設置され、用水は南沢と北沢や川北道添いの川に分けられ新村の農地二〇〇ヘクタールを潤しています。また、分水工に至る水の流れには、先人の知恵が活

かされています。波田三溝から流れ下る川の勢いを分水工手前数十メートルで蛇行させ、緩やかな水流にして、更に分水工直前でU字に歪曲させて水が偏りなく各水門に流れ込む工夫が施されているのです。

新村の豊潤な農地は、こうした先人の知恵と工夫のお陰であることに感謝しましょう。

## 高綱中学校に着任して



高綱中学校長  
清水 伸行

着任して4ヶ月が過ぎようとしています。新型コロナウイルス感染拡大の影響で2ヶ月近く遅れてスタートした今年度。最近では、部活動も始まり、生徒たちが登校し、教育活動が再開できる喜びをかみしめている毎日です。高綱中では「地域を支え、

頼りになる高綱中生」を目指して取り組んでいます。コミュニティスクールの「チーム若鷹運営委員会」を通じ、地域との交流活動も計画されています。今年度はコロナの影響もあり、どれだけ地域と関わる活動ができるかわかりませんが、地域の中で生きる生徒を目指して取り組んでいきたいと思っています。高綱中生を地域の一員として、育てていただければと思います。ご支援よろしくお願ひします。

## 八束穂

岳都松本、どんな山を思い描きますか。穂高、槍、常念、美ヶ原など、高い山だと思えますが、私の登った身近な里山を紹介します▼①千鹿頭神社の参道を登り林城跡へ。城を守っていた戦国時代の侍や足軽を偲びつつ、金華橋に下ります▼②浅間温泉から美鈴湖近くの大正山へ、常念に連なる山々が望めます。温泉街のホテルや、市体育館、信大キャンパスなどが眼下に、町並みに生活感を感じます▼③少し頑張つて烏帽子岩を指しましょう。新村からは東の山に小指を立てたように見えます。三才山ドライブインに車を止めて、登山口から2時間、そびえ立つ烏帽子岩を眼下に覗き見て、遠く乗鞍、私たちの住む松本平を見下ろせます▼コロナ禍で山小屋が休業中で登山規制中の現在、ステイホームで少し足が鈍ってしまっている皆さんや、高山はもう登れないかと思っている方。軽登山靴を履いて気軽に身近な里山を登ってみませんか。大きな満足感とはいきませんが、けっこう楽しいですよ。

### リゾート風 特養オープン!

社会福祉法人北アルプスの風(神谷典成理事長)は松本市の公募に応じ5月1日、地域密着型介護老人福祉施設「リーベにいむら」を上新西地区に開設しました。定員は29名で全室個室ユニット型。リゾート風をコンセプトに、オシャレな空間を目指し完成されました。

各ユニットの中央には特養とは思えない解放感あふれるカフェラウンジがあり、家族との面会や地域交流の場としても利用できます。

本来であれば、開所前に関係者や地域の方も招いて内覧会が行われる予定でしたが、残念ながら新型コロナウイルスの影響で中止となりました。施設長の田中妙子さんは「地域密着型という名の通り、入所者や職員が地域の方と関わり合い、交流しながら生活していきたい。施設を目指したい」と語られました。



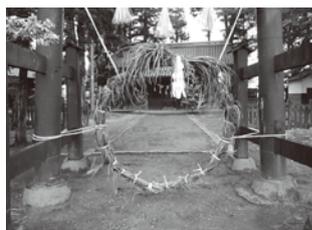
▲建物外観



▶建物内部

### 夏越の大祓い 茅の輪くぐり

6月14日(日)小野神社において「夏越の大祓い」の神事が行われ、鳥居に茅の輪が設けられました。



皆さんくぐりましたか?

この輪をくぐることで、1年の前半の罪や穢れを祓い、残りの半年の無病息災や厄除け、家内安全を祈願します。

### 心、静かに筆を運ぶ

6月24日(水)専称寺で公民館主催の写経会が開かれ18名の参加がありました。

始めにご住職から善導大師の「往生礼讃」という経文の意味を解説いただき、一字ずつ丁寧に書き写していました。

また、コロナウイルス撲滅の「願文」の見本もいただき、一刻も早い疫病終息を祈りました。



もくもくと筆を運ぶ参加者

### 天空のトレッキング

6月17日(水)「歩きましょや」と「ものぐさ大学」の合同ウォーキングが8名の参加者で、美ヶ原で行われました。バスを途中下車してスキー場跡のレンゲツツジ満開の群落を堪能。

その後「思い出の丘」駐車場から出発。天気恵まれ360度のパノラマ、参加者から歓声があがりました。昼食後は、王ヶ鼻まで散策松本平を見下ろし、遠く富士山までの展望。

コロナ禍の下界をよそに、梅雨晴れの爽やかな高原のトレッキング、心地よい疲労感で満足のいち日になりました。



咲き乱れる  
レンゲツツジ



武石峰をゆく

### さらば! 「アオガエル」

春のある日:上高地線新村駅周辺が賑やかだ。どうやら俺を運び出す準備をしているらしい。

現役の時はずっと事故を起こさないよう一生懸命走った。引退して6年経った2006年から、駅前あたりの物好き達が「古い電車で新しい語らいの会」を創って、俺を「えんがわ電車」と名付け、面白く楽しく地域活動をしてきた。だから彼らとは14年のお付き合いとなった。

新しい住処へ移ったら、このご主人様が顔も体も化粧直ししてくれるんだって。日本では俺みたいなアオガエル電車が希少になったからかな。またみんなに会えるのを楽しみにしているよ。



時代を駆け抜けた車両

昔なつかしい車内

### くれき句会 一人一句

俳句を詠み褒貶をする。年寄り臭い飄逸であろうか? 私は俳句は「気付き」だと思ふ。生活の中で気付きが無くなったら、人生も終焉であるろう。

「くれき句会」の俳句を讀者のみなさんは、いかが感じるのでしょうか。

■道の駅あやめ一株求めたり  
上條 美喜子

■雷神の六月の空かけめぐり  
蒲谷 邦彰

■ときめきがやすらぎとなる  
梅雨の星  
川合 文明

■若葉風寝ころびて聴く  
ビバルディ  
輿 代志子

■つと触れて薔薇の車を  
散らしけり  
小林 節子

■強き風背もたれにして  
夏野行く  
佐藤 まり子

■修道女頼赤くして茶摘かな  
山口 茂

■明易し烏柄杓の大繁茂  
手塚 弘子

■琵琶熟るる屋敷の中を  
川流れ  
柳澤 和子

■褒貶し褒め、貶し批評すること  
飄逸し世間を気にせすのきなこと